



MESSAGE NOTES

混乱の時

ハバクク

ロイド・フラハティ

1.“いつまで?”と“なぜ?”

ハバククは混乱し、2つの大きな疑問を抱えていた：

•いつまでですか、

主よ。私が叫び求めているのに、あなたが聞いてくださらないのは。(ハバクク書 1:2)

•なぜ、あなたは私に不法を見させ、苦悩を眺めておられるのですか。(ハバクク書 1:3)

背景: ユダは暴力、不正、圧制に悩み苦しんでいたため、ハバククは混乱し、神様の義とタイミングに疑問を抱いていた。

不義を行う者たちは高慢と傲慢に満ちていた。(ハバクク書 2:4 参照)

(注: この「ユダ」とは土地の名前であり、人の名前ではない)

2. 信仰、信頼と礼拝(賛美)

信仰は完全な理解を必要としない—神様のご性質に信頼することが必要
経済破綻に直面しても、ハバククは神様を喜んだ。

ハバクク書 3:17-18 いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。18 しかし、私は主にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。

3. 神様は力を与えられる

困難な時、神様に希望を置くと、自分が持てるとは思っていなかったような力を与えてくださる。

ハバクク書 3:19 私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。

適用:

- 礼拝(賛美)は、信仰の行動であり、万事うまくいっているときの応答ではない
- 困難の中でも、神様に信頼すると喜びと平安がある
- 試みの時に神様は私たちに力を与えることができる